

保存版

新大広報

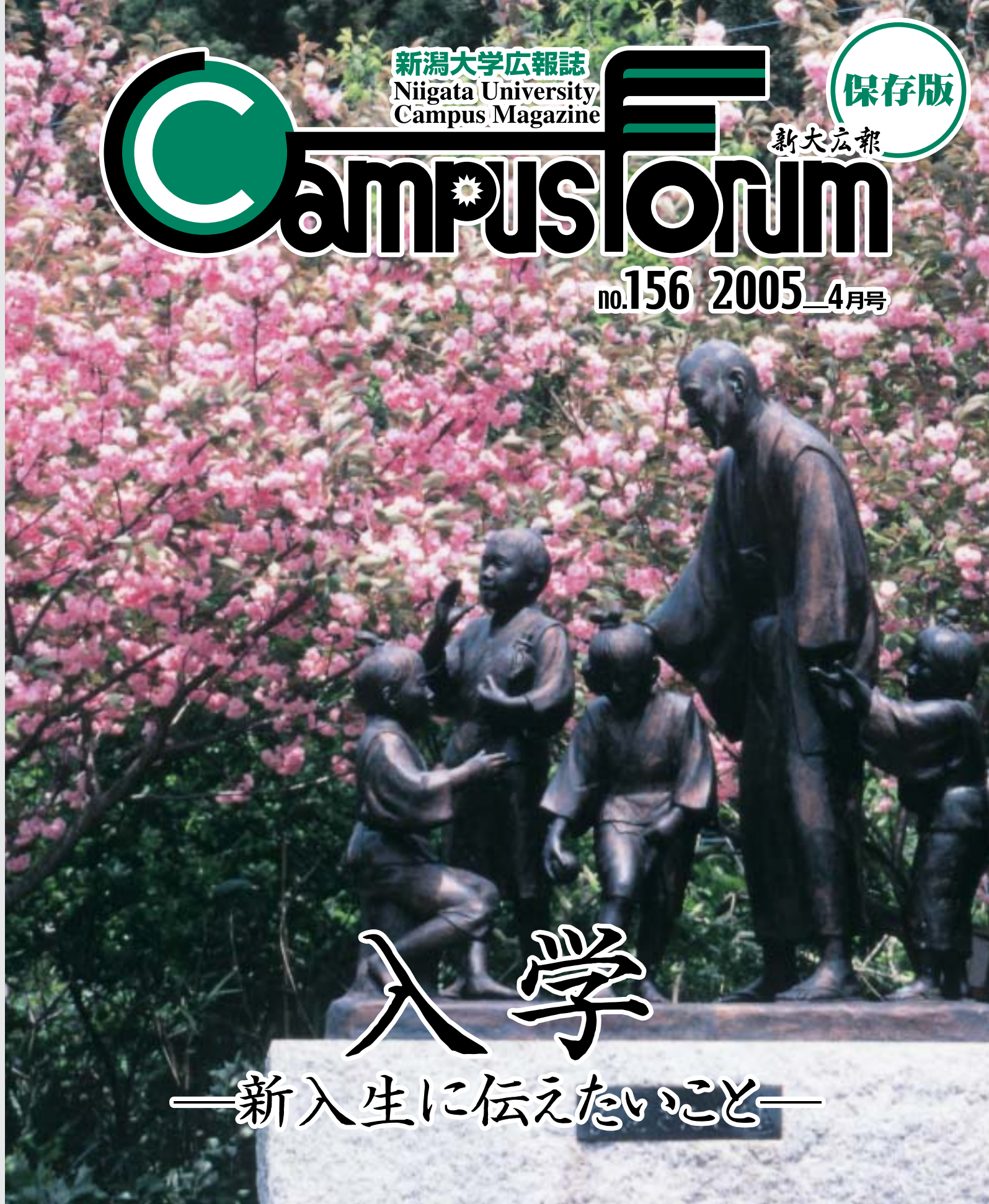
新潟大学広報誌
Niigata University
Campus Magazine

Campus Forum

no.156 2005_4月号

入学

—新入生に伝えたいこと—



no.156 2005_4月号

編集 発行 新潟大学広報委員会
新潟大学学務部

印刷 株式会社 博進堂

Campus Guide

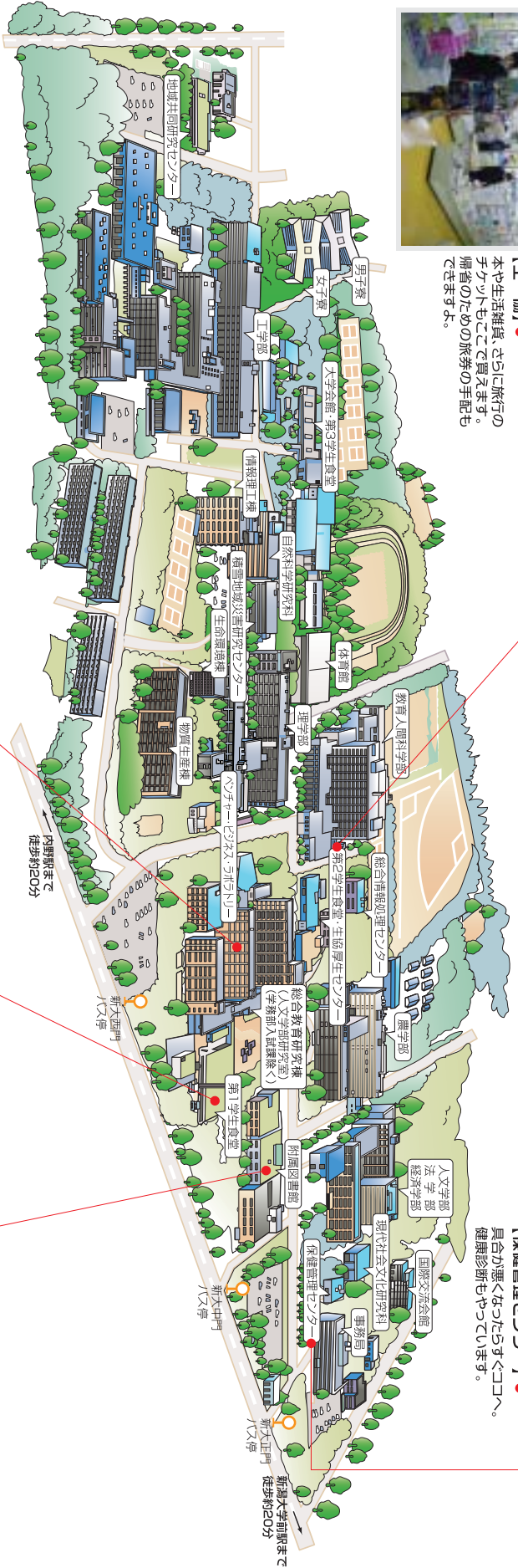
—キャンパスガイド—



【保健管理センター】
具合が悪くなったらすここへ。
健康診断もやっています。



【生協】
本や生活雑貨、さらに旅行のチケットもここで買えます。帰省のための旅券の手配もできますよ。



【第1食堂・パンショウコ】
学内最大の食堂とそこに附属するパンショウコです。パンショウコはパンだけでなく、おにぎりやお菓なども取り扱っています。



【図書館】
机やパソコンが充実しているので、勉強やレポート作成に最適な環境！
テラス前は田沼藩になります。



【総合教育研究棟】
一年生が主にお世話になる建物です。授業だけでなく、学内の方イベントや、サークルの集まりにも使われています。



問い合わせ先 ● 学生生活支援課(262-6089)または各学部の広報委員まで。
● 学務局(学務部) Tel 262-6089 Fax 262-7516 kosisi@adm.niigata-u.ac.jp

● 新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/> ■ この広報誌は再生紙を使用しています。

自立した大学生活を送ってほしい



椿 智彦さん

経済学部卒業
出身：東京都文京区
専攻：経営学科
活動：学生新聞サークル
「新大プレスそよかぜ」
の広告を担当



阿部純也さん

教育人間科学部4年
出身：新潟県新潟市
専攻：生活環境科学課程
活動：現在はサークルや
ボランティア活動はせず
に就職活動とアルバイト
に専念



樋山和恵さん

農学部3年
出身：新潟県中之島町
専攻：生産環境科学科
活動：1年の夏休みから
環境教育を行っている市
民団体に参加



齋藤友恵さん

理学部2年
出身：秋田県秋田市
専攻：生物学科
活動：リサイクル弁当箱
会（ゴミ問題など、環境問
題についての意識啓発）

大学生生活を始めるにあたって、「新入生に伝えたいこと」というテーマで座談会を開き、先輩の皆さんからお話を伺いました。少しでも充実した学生生活を送られるように応援しています。

入学当初、不安に感じたことはありましたか？

椿 高校生の時はあまり人づきあいが得意ではなかったので、友だちができるかどうか不安でした。でも、1年生の後期から、「新大プレスそよかぜ」(1)に入って、交友関係が広がっていきました。大学外の人と関わることが多くなって、自分の中の何かが目覚めていきました。この4年間でずいぶん変わったと思います。

阿部 勉強の方法が高校とは全く違うので、単位が取れるかが一番不安でした。でも、出席と課題提出などをきちんとしていれば単位は問題なくとることができます。単位を取る為には、最低限授業にはしっかり出席することが求められると思います。先生方も真面目に頑張っている学生を見捨てたりはしないでしょう。

齋藤 私も勉強と友だちについて不安でした。でも、入ってみたら大学の雰囲気が助けてくれました。新大は開放的でのんびりしていて、それがいるんなところに影響していると思います。勉強も今までのように与えられるものではなくて、自分のやりたいことができます。そんなに不安がることではないと思います。

樋山 私は就職への実感が持てず不安を感じていました。今も不安はありますが、様々な仕事や活動をしている人に出会うことで将来の選択の幅が広がったと思います。

椿 お金の不安もありました。でも、その気になればアルバイトで稼げるので、結局無駄な心配でした。

阿部 2年生からアルバイトを始めて、親

から小遣いをもらわなくても済むようになりました。半分自立したようで充実感が生まれてきました。それに、心の余裕も生まれました。自由にお金を使えるので、やりたいこともやれて活動的になれました。

齋藤 バイトもやってみると、将来役に立ちますね。

大学生活で困ったことはありましたか？

阿部 僕は自宅生なので、あまりなかったです。

齋藤 私は一人暮らしですが、実家が恋しくなります。時々実家に充電しに帰ります。

樋山 一人暮らしは食事に困りますね。

椿 それに病気も厄介です。一人暮らしで風邪をひいたりすると、どうしてもないです。最悪の場合は友だちに買い物をお願いします。

齋藤 大学生になってから、まだ病気になったことがないです。でも、風邪をひいたらどこの病院に行ってもいいかわからないです。(そんな時こそ、P.9～10の地図を活用して下さい。)

大学生活の楽しみ方、または打ち込んでいることはありますか？

齋藤 今は勉強を頑張りたいです。大学に入ってやりたいことがはっきりしてきて、勉強が楽しくなってきました。大学生活の楽しみ方は人それぞれですが、大学の中だけで活動しているとそれで完結してしまいます。なので、大学外の人と関わることが大切だと思います。そのことで影響も受けるので自分の将来も考えるようになります。自分なりの楽しみ方が広がると思います。

阿部 学外に飛び出していくことはすごく

大事です。僕が重要視していたのが、大学生活でしかできないことをすることでした。アルバイト、ボランティア活動、サークル活動、そして勉強も。大学生活は時間があるので、いろいろ挑戦してみるといいですね。

椿 「新大プレスそよかぜ」の活動を通して、いろんな人が世の中にいることがわかってきて楽しかったです。また広告づくりを通して、イラストレーターなどのDTP(2)ソフトを使っているんなものを作ったり、編集したりするスキルを磨くのもおもしろかったです。学生は時間が余るので、その時間を使って何をするかは個人の自由ですが、何か一つでも、絶対誰にも負けないものをつくることができると思います。

先輩として新入生に気をつけて欲しいことはありますか？

樋山 大学内の点字ブロックの上に自転車が置いてあるのが気になります。

齋藤 アパートに卒業した人たちが置いていった自転車が住人の倍ぐらいあって、止めるところがないのが困りました。

阿部 新潟大学前駅に放置自転車が山のようになり、こんなにあるのかとぞっとしました。自分がお世話になった自転車なのだから、最後まで面倒をみてほしいです。
椿 大学周辺のお店や郵便局にも自転車が放置されています。周辺地域の方々に迷惑をかけるのはよろしくないと思います。

ゴミの分別が問題になっているようですが？

樋山 祝日はゴミ収集がないのですが、知

らない学生が多いみたいです。

椿 自治会との関わりがないので、通達が行き届かないという感じがあります。ここら辺は学生街というか、一種の閉鎖空間のような気がして世間の一般の規則が通用しない感じがあります。

齋藤 正門そばのゴミ捨て場がすごく荒れています。でも、掃除している人は地域の人だけなんです。学生が掃除しているのは見たことがありません。地域の人ばかりが苦労していると感じます。

阿部 地域に悪影響を及ぼしています。街をきれいにしていくように心がけないといけないです。

他に新入生に向けてメッセージがあったらお願いします。

椿 大学生は何をするのにも割りりと自由にできます。でも、自由だから何をしてもいいわけではないです。大学生の常識は、必ずしも世間に通用するとは限らないということだけは頭の中に入れておくといいと思います。

座談会を終えて

大学生活は自由ですが、一方で自己の社会的な責任というものが発生します。学問だけではなく様々な社会的知識を身に付け、大学生活を有意義なものにしていって下さい。

椿 智彦

今回はどうしたらキャンパスフォーラムが多くの人に読んでもらえるのか、また新入生にとってどのような記事が必要とされているのかということ意識しながら編集に携わりました。

阿部純也

「私は 学部だから のことしか興味がない」なんてもったいない！新入生の皆さんには、遊びでも学業でも自分を限定せずに、様々な面から新大生活を楽しんでほしいと思います。

樋山和恵

様々な活動に携わっている人の話を聞くことができ、ためになったインタビューでした。長いようで短い大学の4年間をやり多しものにするための「姿勢」を学ぶことができました。

齋藤友恵

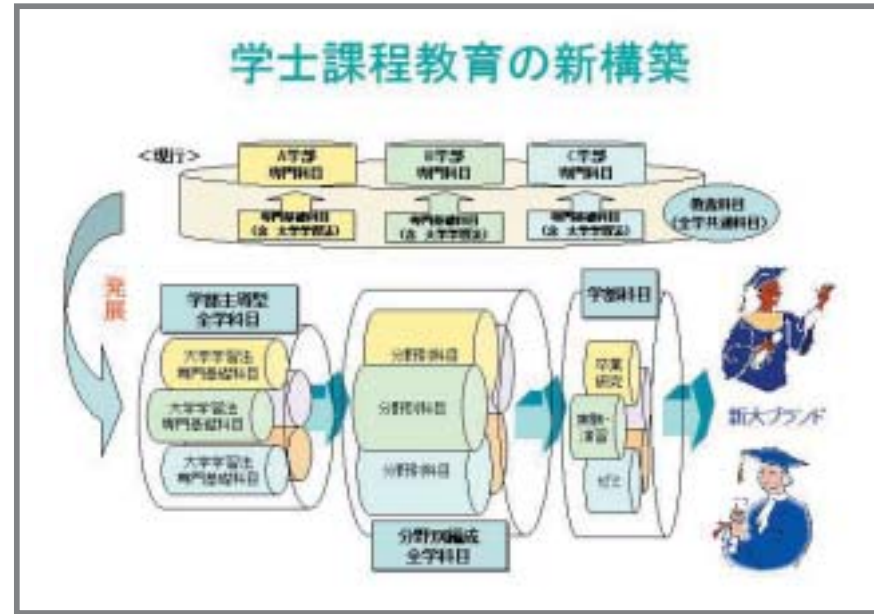


特色ある学士課程教育

新 入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは自分の将来を見据え、その将来計画を現実のものとするため、大学への進学を決め、そして新潟大学に入学されたことと思います。

大学での学習は、高校までに身につけた教育成果を基礎とし、更なる知的探求心のもとに取り組むことになります。人文社会、教育、自然及び医歯学系の学部を有する新潟大学では、その利を生かし、次に説明する「ベンチマークプログラム」及び「オナーズプログラム」を核とした新しい学士課程教育（学部教育）制度を導入しました。

本学の制度を活用し、自ら意欲を持って勉学を深めることによって大学院進学を含め、将来の選択肢が広がることを期待します。

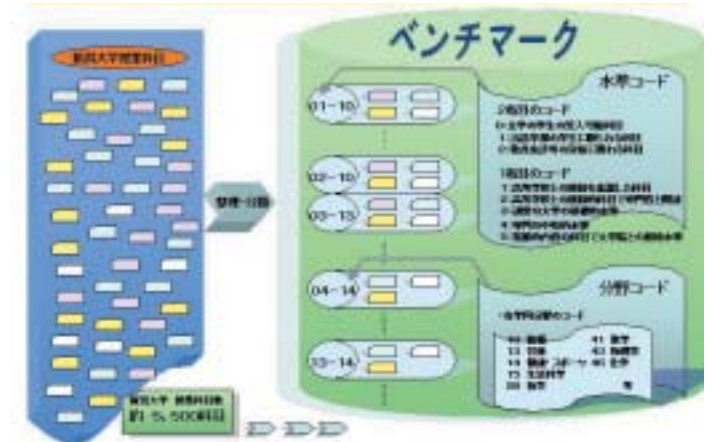


ベンチマークプログラム（分野・水準表示法）

新潟大学五十嵐キャンパスの7学部（医・歯学部を除く）で開講されている全ての科目に、分野と水準を示すコードを統一的に付けるものです。これにより、新潟大学で開設する全ての授業科目を分野別一覧表の形で見る事ができます。科目には水準を示すコード（注1）が付いていますので、各科目の難易度を明確に把握し、科目の相互関係や体系的な理解をすることができます。

例えば、生物学分野の科目は、理学部はもちろん、教育人間科学部、農学部、工学部のカリキュラムに含まれていますが、学部によって科目名が異なるため、水準が同じでも所属する学部の科目名でなければ卒業要件単位として認定されませんでした。しかし、ベンチマークを付すことによって各学部のカリキュラムに含めることができるようになります。生物学とは関連が薄い学科の学生で、教養教育に関する科目の中で生物学を履修し、もう少し深く生物学を学んでみようと思った時、ベンチマークプログラムの科目表を見て、より専門的な科目の履修に挑戦する可能性が開かれます。

ベンチマークプログラムを使うことで、所属学部にとらわれず、新潟大学の全教員を自らの勉学に活用することが可能です。また、自立的な学習計画が立てられれば、総合大学である新潟大学に入学した利点を十二分に生かして、幅広い勉学も、深い勉学も可能となります。



(注1)

水準コード	0番台科目（原則として全学の学生の聴講を認める）
01	高校との接続的科目
02	専門性に関連した高校との接続的科目
03	基礎的水準の科目
04	専門の中核的水準の科目
05	大学院との接続水準の科目
10番台	（原則として他学部学生の聴講を認めない）
20番台	（教職科目等）
分野コード	学問分野ごとにコード番号を割り当てたもの
	（例）10情報 13芸術 14健康・スポーツ 43物理学 46化学

オナーズプログラム（副専攻制度）

所属学部学科の学位とは別に、特定分野の学習成果を認証する制度です。専門分野の勉学の成果は、卒業時に「学士」という称号を得ることで、社会的に認知されます。しかし、従来、専門分野以外の分野について、学習成果を認証する制度はありませんでした。

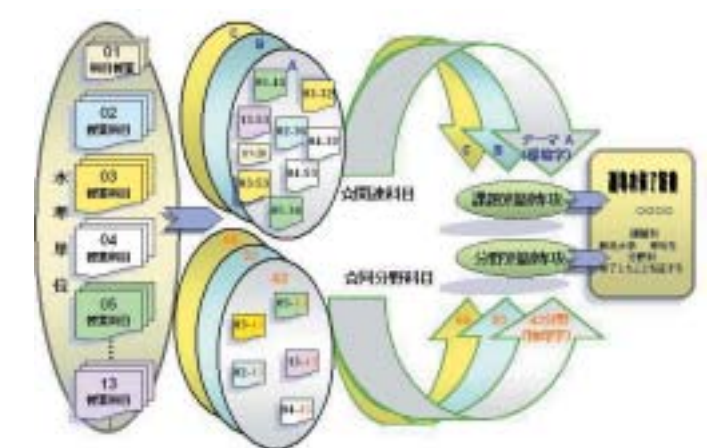
副専攻制度では、当該専門分野以外の特定分野科目を一定単位数以上取得した学生にその勉学の認証を付与する制度です。学生は卒業にあたって副専攻認定の申請を行います。一定の基準（注2）を満たしていることが確認されれば、専門分野に関わる「学士」の卒業証書に加え、課題・分野のテーマを明記した「副専攻」を認定する証書を授与します。

「課題別副専攻」

学内で開設されている授業科目を分野横断的に統合したプログラムを作り、学生に「テーマカリキュラム」として提示します。提示されている科目から一定の要件を満たすように選択履修して、一定レベル以上の成績で単位を取得した時、課題別副専攻履修者としての認定を得ることができます。

「分野別副専攻」

ベンチマークプログラムにおける特定分野の授業科目で構成するプログラムを作り、そのプログラムの中から、一定数以上の単位を取得した場合に副専攻の認定を受ける制度です。



(注2)

認定要件	副専攻プログラムの認定の対象となる資格を有し、かつ所定の授業科目について24単位以上を修得していること。
	卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
	卒業時まで履修したすべての授業科目について、1単位当たりの成績の平均値（GPA）が2.5以上であること。

聴講体験談

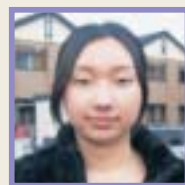


ご入学おめでとうございます。楽しい大学生活を送るために履修のアドバイスをしたいと思います。

1年生は教養教育を中心に学ぶこととなります。自分でシラバスを読んで、興味のある授業を探したり、先輩が面白いと言っていた授業をとってみるのもおすすめです。また、その際いろいろな人と出会うチャンスです。授業をきっかけに友達の輪を広げてみてはいかがでしょうか?!

1年のうちに教養教育をすべて取ってしまうと、2年次以降とても楽になります。計画的に時間割をたてましょう。大学生活はとても楽しいです。勉強と遊びを両立してすてきなキャンパスライフを送って下さい。

（長嶋真由さん / 教育人間科学部生活環境科学課程4年）



初めて聴講取りをする際は勝手が分からず戸惑うこともあるかと思います。一般的にはシラバスを読み、先輩の意見などを参考にしつつ、自分の興味がある講義を取ることになると思います。シラバスだけでは分からない部分もあると思いますが、そんなときは講義の担当教授に直接聞きに行ってみてはいかがでしょうか。どのような先生が講義してくれるのか知ること意外に重要な事だと思いますし、もしかしたら先生から何か興味深い話が聞けるかもしれませんよ。

また、自分が興味を持っていることは、図書館や学部の資料室などで情報を収集したり、専門の教授に直接教えを乞いにいくなどして自主的に学んでいけば良いと思います。

また、自分が興味を持っていることは、図書館や学部の資料室などで情報を収集したり、専門の教授に直接教えを乞いにいくなどして自主的に学んでいけば良いと思います。

（高橋奈央さん / 法学部法政コミュニケーション学科3年）

あなたのメンタルヘルスは 大丈夫？

1. はじめに

保 健管理センター（以下、センター）は、本学の学生と教職員のための、健康診断、健康相談、健康教育などを行っています。今回は、誌面の関係から、学生のメンタルヘルスに対する取り組みをご紹介します。

2. メンタルヘルスに対する取り組み

セ ンターのメンタルヘルスに対する取り組みは、大きく分けると次の3つからなっています。



メンタルヘルス相談
（センター内カウンセリングルーム）

1) メンタルヘルス相談

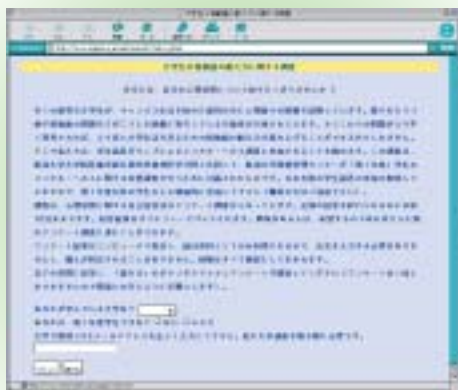
心の悩みや精神面の不調を感じて困っている学生と職員に対して、精神保健担当の教員が相談を行っています。予約制となっていますので、初めての人はセンターを直接訪ねるか電話で問い合わせて下さい。

よくある相談内容は、例えば、「友人、親、あるいは教員などとうまくいかない」、「初めての一人暮らしに慣れてなくて落ち着かない」といった対人関係や環境変化のストレスからくる問題、「気分が沈んで元気が出ない、他人と会うのがつらくて学校へ行けない」といった気分の障害に関する問題、「過食が止められない」、「太るのがこわくて食事ができない」といった食習慣に関する問題、「寝つきが悪い、眠りが浅い、朝早く目覚める」といった睡眠に関する問題など様々ですが、肝心なのはこうした悩みを一人で抱え込まずに早めに相談することです。「こんなことを相談してもいいのだろうか」と迷うようなことでも、気軽にセンターを訪ねるか電話で問い合わせて、相談の予約をして下さい。個人の秘密は厳守します。なお、電話やメールでの相談は一切していません。

2) メンタルヘルス検診

センターでは、これまで入学時に健康調査を実施し、必要に応じてセンターに来てもらってメンタルヘルスを含めた助言や指導を行ってきました。一方入学後の学生に対してはこうした機会を特に設けていませんでしたが、昨今メンタルヘルスの問題で悩む学生が増えていることを考えると、新しい対策を講じる必要があると考えています。そこで、学生健康診断の一環として精神面の検診（メンタルヘルス検診）を希望者に実施し、心の健康状態を正しく知る機会を提供すると共に、必要に応じて適切な助言や指導を行いたいと考えています。具体的な内容やスケジュールが決定したら、掲示板やセンターのホームページで通知します。メンタルヘルスに関する問題は友人や親などにすぐには相談しにくい場合があります。また自分ではよくわからない場合もあります。学生のメンタルヘルスの問題は少しの助言や指導で良くなることも少なくないので、こうした機会を利用して心の健康の保持・増進に役立てて下さい。

また、最近では、ウェブによるメンタルヘルスの自己チェックのページを開設しました（http://www.niigata-u.jp/aoki/mental1/intro_j.html）。ページ上の質問文に回答するとすぐにコメントが返されますので、自分の心の健康状態をただちに知ることができます。是非このページも利用してみてください。



http://www.niigata-u.jp/aoki/mental1/intro_j.html
ウェブにあるメンタルヘルス自己チェック

3) メンタルヘルス教育

センターでは、学士課程教育の中で全学部の学生を対象に「健康と医学」という講義を開講しています。これはセンターの教員全員が担当し、身体・精神両面の健康に関する内容からなっています。関連する講義として「健康スポーツ科学講義」、「心理診断学的臨床心理学」も開講しています。キャンパスライフを健康に過ごすための、メンタルヘルスを含めた医学的知識を得ることができます。また「心の健康セミナー」というセミナーを学生と職員を対象に年4回行っています。各回メンタルヘルスに関係したテーマを取り上げ、センターの精神保健担当の教員が講師をつとめます。少人数制なので質疑応答にも十分な時間がとれますので興味や関心のある人はふるって参加して下さい。必ず役に立つ専門的知識や情報が得られることと思います。開催日時と取り上げるテーマについては、掲示板やセンターのホームページで通知しますので随時参照してみてください。加えて「健康セミナー」という学生、教職員、および一般市民を対象とした公開講座も年に1回開催しています。内容はメンタルヘルスのテーマも含み多岐にわたっています。

なおセンターでは「健康教室」という参加・体験型の教室をセンターの看護師が中心となって年3回開催していますが、ここではメンタルヘルスと大きくかかわっている、タバコ、アルコール、肥満、生活習慣病などについての指導を行っていますので、こちらも参加してみてください。



健康診断（大学会館）

3. おわりに

以上、保健管理センターにおけるメンタルヘルスに対する取り組みを簡単に述べてみました。この記事は、平成17年3月4日学生の代表がセンターの取材に訪れた際に話した内容をまとめたものです。当日は「メンタルヘルス検診などは是非やってほしい」、「もっとセンターの活動を知らせてほしい」といった声もあり、学生のメンタルヘルスに対する関心の高さをうかがい知ることができました。今後とも役に立つプログラムを工夫したいと思いますので、気軽にセンターを利用して下さい。



春の保健管理センター

保健管理センター

電話	025-262-6244（五十嵐センター） 025-227-2040（旭町分室）
ホームページ	http://www2.cc.niigata-u.ac.jp/Hoken

課外活動を見つけるのも楽しみ



福江 誠さん 教育人間科学部3年

昨年秋、大学教育開発研究センター(大教センター)の支援のもと、学生の立場から大学の改革と再発見を目指していこうという団体、新大開拓系サークル『うぐっす』が生まれた。『うぐっす』のメンバーであり、他にも複数のサークルに所属している福江誠さんにお話を聞いた。

まず『うぐっす』についてお聞きします。『うぐっす』はどういう集まりなのですか？

大学生活で『大学のあそこどうにかならないかな?』と感ずることを学生同士出し合って、大教センターの先生と話し合いながら学生の意見として取り入れてもらっています。

今までどのようなことをしましたか？

まず授業アンケートの改善を試みました。他大学と比較してアンケート項目の再検討を行いました。また、メンバー外の学生の悩みや大学への疑問を聞く「新大セッション」という場を持ちました。

なぜ『うぐっす』に参加しようと思ったのですか？

はじめは軽い気持ちだったのですが、

先生と話しているうちに、他大学では学生の意見が大学に影響を与えていることを知り、大学に足跡を残すのはかっこいいなって。それと、僕の中には「出る者は後の人の為になんかしてはいけない」という考えがありまして、自分達が困ったことを改善して後輩達が助かるならという想いもあります。

『うぐっす』でやっていきたいことはどのようなことですか？

同時時間帯に興味ある授業が複数ある場合に、ガイダンスを前後半制にして二つ受けられるような提言をしていきたいです。また就職サポートのようなことも行えればと考えています。

次に福江さん自身についてお伺いします。新潟大学に入学したときの第一印象は？

大きな大学で人が多いな、と。サークルの新歓活動には圧倒されました。熱気が凄いなと。パワーのある大学なんだと思いました。

大学に入って戸惑ったことはありますか？

聴講取りにしても、勉強の仕方にして入る前のイメージと全然違ってました。何でも一人でやらなくてはいけないので、厳しいとも思いましたが、社会に出ていく人間がやらなければいけないことを学んでいるとも感じました。

あと、初めての集団に如何に馴染めるかなと考えていました。

福江さんはたくさんのサークルに所属されていますが、新歓の時に多数のサークルを見学したのですか？

そんなには回ってないですね。初めに決めたサークルが気に入っちゃって...

ただ、もったいなかったなと今では後悔しています。新歓の時は新入生ということに甘えて、いろんな団体の新歓に顔を出しておけばと思っています。団体を見るのはもちろん、新たな交流が生まれまじし...

大学に馴染むということに不安を感じている新入生も多いと思いますが、人と仲良くなる秘訣はありますか？

はじめに恥ずかしがらずにたくさんの人に話し掛けるのが大事だと思います。新潟大学の魅力は総合大学であることなので、他の学部の人と仲良くなれるのも魅力。将来友人に様々な職種の人がいるのは素晴らしいし、在学中においてもプラスになる部分がたくさんあると思います。

最後に新入生へメッセージをお願いします。

三つあります。一つ目はいろんな人に話し掛けましょう。嫌だと思った人もまずはどんな人が話してみようと思えます。二つ目は遊ぶ。遊ぶことで気分転換になるし、関係も広がるはず。三つ目はどこかで将来のことを考えておくということです。考えただけじゃなくて、考えて何かしてみることが大切だと思います。

インタビューを終えて
「大学は、もしその場所が過ごしにくいと感じたら変えられる場所なんだ」という言葉が印象的でした。「大学生活を過ごして疑問に感じる事があったら意見を言うだけでいいので、一度『うぐっす』に遊びに来てくれば」ということでした。お菓子も出るという噂も...『うぐっす』に興味を持った方は大教センターまで。
(学生編集委員 医学部5年/佐藤寿和)



網川直喜さん 教育人間科学部4年

網川さんは「まなび屋」を始めとして、いろいろなボランティア活動に参加し、大学生活で数々の貴重な体験をしてきました。そこで、具体的にどのような活動をしているのか、新入生の皆さんに知ってもらいたいと考え、今回お話を伺ってみました。

今までの大学生活の中で一番力を入れた活動は何ですか？

それは「まなび屋」という活動ですね。「まなび屋」というのは新潟大学と新潟市西地区公民館が連携して行っている活動で、具体的には毎週木曜日に公民館で小・中学生を対象に学生や地域の方々が講師となって学校では教えないことを、子どもたちと一緒にまなぶといった活動をしています。

「まなび屋」は、いつでも誰でも参加できます。いろんな学部のガイダンスでも説明しますが、西地区公民館に来ていた



花絵プロジェクトにおけるチューリップ摘みの様子の一場面

できれば参加できます。

他に経験した活動があれば教えてください。

「まなび屋」をきっかけに、他にもいろんな活動ができました。花絵プロジェクトといって毎年春に行われているもので、チューリップ畑に何千本というチューリップを摘みに行き、そのチューリップを穴の開いたボードに挿して絵を作っていくというものがあります。その実行委員としてお手伝いさせていただきました。他にも、小学校や保育園、数多くのところにボランティアに行きました。

また、「まなび屋」で得た経験を生かして、個人的にも活動をしています。新潟市曾野木地区公民館で行われている、フリースペースや東曾野木小学校で行われているふれあいスクールで小学生と一緒に遊んだり、2月～3月に長野で行われたスペシャルオリンピックスのボランティアにも行きました。

これらの活動を通して学べたことや、その活動をする中で何か自分が成長したと感じたことはありましたか？

いろんな人と関わるちからです。今まで人と接することが苦手だった自分は、このような活動をする中で、自然と多くの人たちと接することができ、人が好きになりました。

また、いろいろなことに対する積極性です。これも自分にとっての課題だったのですが、とにかくいろんなことをしてみようと思うようになりました。

それと、いろんな経験を積むことで、ものごとをいろんな角度から考えることができるようになったと思います。



まなび屋の活動での授業風景。この日のテーマは「中国語で遊ぼう。」

うまくいかなかったことや失敗したことがあったら教えてください。

多くの人と活動をするときに、つい自分一人でやってしまったり、うまく他の人に仕事を割り振ることができなくて、自分で抱え込んでしまったことです。

これからの大学生活に胸を躍らせている新入生の皆さんにメッセージをお願いします。

自分で何かやりたいものがある人はそれを、まだそれが無い人はとにかくいろんな活動をしてみてください。最初は勇気がいりますが、一歩踏み込んでしまえばきっと、楽しい経験ができると思いますよ。その中できっと、あなたがやりたいことがみつかるはずですよ。せっかくの大学生活思いっきり楽しみましょう。

インタビューを終えて
網川さんはまなび屋や数々のボランティア活動を通して、多くの人々と出会い、様々な経験を通して大きく成長できたそうです。何か新しいことに挑戦したり、新しい世界に足を踏み入れることはとても勇気がいりますが、新入生の皆さんもぜひとも最初の一歩を踏み出して多くの経験をして欲しいと語っていました。
(学生編集委員 教育人間科学部4年/阿部純也)

五十嵐キャンパス

この地図は2005年3月現在のものです。



旭町キャンパス



キャンパスライフ イエローページ

<p>新潟大学保健管理センター TEL.025-262-6244 (五十嵐) TEL.025-227-2040 (旭町)</p> <p>新潟市医師会休日急患診療センター TEL.025-231-4131</p> <p>新潟市白山浦2-180-5 新潟県歯科医師会休日歯科診療センター TEL.025-283-3030</p> <p>新潟市堀之内南3-8-13</p>	<p>新潟いのちの電話(心配事相談)・新潟 TEL.025-229-4343</p> <p>消費生活センター TEL.025-285-4196</p> <p>新潟県交通事故相談所 TEL.025-280-5750</p> <p>警察本部女性被害110番 (性犯罪被害等相談) TEL.025-281-7890</p>	<p>東北電力 TEL.025-223-3141</p> <p>北陸ガス TEL.025-228-2131</p> <p>新潟市水道局 TEL.025-266-9311</p> <p>新潟市役所 TEL.025-228-1000</p> <p>JR新潟駅案内センター TEL.025-248-5211</p> <p>新潟交通(路線バス案内) TEL.025-246-6333</p>	<p>にいがたバスi なんと新潟のバスの運行状況がリアルタイムにわかる。「新潟市内路線バス西小針線」・「高速バス」の情報あり。携帯電話からでも見られる。 http://bus.2159.go.jp/ 新潟日報 http://www.niigata-nippo.co.jp/</p>
--	---	---	--

凡例

	コンビニ		居酒屋		食事処&喫茶		生活用品		レジャー		医療機関		銀行(ATM含む)
	郵便局(ポスト含む)		酒蔵		その他		のみや通り		ゆうれい坂				